

●ふじわら・なつこ

1980年8月生まれ。横手市黒川出身。横手城南高校卒業後、新潟の短大で栄養学を学ぶ。飲食店の販促企画、人気フードスタイリスト マロンさんのマネージャー、企業広報、商品マーケティングの経験を生かし独立。現在は料理研究家として雑誌、広告、イベント、TV、レシピ開発などで活躍。「OFFICE COMATCH」にて、食とデザインの複合専門家として、現在、13社のブランディング支援を展開中。クリエイティブディレクターとしても数々の賞を受賞。東北の女性起業支援団体「Venus Club(ヴィーナスクラブ)」東京支部代表。



OFFICE COMATCH 代表

栄養士 / 料理研究家

クリエイティブディレクター / デザイナー

藤原 奈津子

現代を生きる「あきたこまち」として

JAグループの皆さんこんにちは。
横手市黒川の農家出身の藤原です！
私は現在東京で、食とデザインの複合専門家として活動しています。クリエイティブディレクターの佐藤可土和さんのような存在を目指し、さまざまな人たちとの出会いの中、日々精進しております。

10年前「料理ができて、デザインもできて、文も書ける人」として、ひょんなことから広告業界の方の目にとまり、信じられないようなさまざまな機会に恵まれ、料理研究家／デザイナーの2足のわらじ業が始まりました。

大きな転機は、シリコン調理器具「ルクエ」のブランディングチームへの

が基本である一方、自然の前ではどうしようもないこともあります。自然相手に米や野菜を育てる家族の姿を見て、私は秋田県民が持つ「実直さ」「我慢強さ」、農家ならではの「しなやかさ」を学び、目の前のチャンスという稲を育てることができました。

私は米農家に生まれ、貧しい子供時代を過ごし、小学校低学年の頃から畑作業で忙しい家族分のごはんを作っていました。母が読んでいた『オレングジページ』などの料理雑誌を通して豊かな食の世界に憧れた私は、家の前の畑の野菜を相手に見よう見まねの料理研究に励みました。家族の「ねっちゃんの作った料理、うめな」を聞いて、農業の先には「どうおいしく食べてもらえるか」があるのでは？とずっと考えていました。

先祖代々の土地を守ることの大切さや、必要最低限の農薬を使う意味、米を育てる家族を養う苦勞も喜びも知った私は、生産法や産地に関係なく、全ての農産物が平等に選ばれ、おいしく食べられてほしい。ブランドイングの偏った見方により、農産物の値段や価値が左右され、廃棄される…そんな食文化のあり方をどうにかしてフラットにし、真の食料自給率向上に貢献したいと思っています。

デザインを変えるだけでは何も変わりません。根本的なニーズを読んだ、アグレッシブな市場開拓が求められています。女性躍進の時代、女性ならで

はの「料理」「センス」で農業を支えることができるかもしれません。私は「あきたこまち」秋田の女性として、農家の娘として、東京で消費者の食への意識を変えるブランディング支援をし、ふるさと秋田に貢献してまいります。若くしてさまざまな食ブームに携われたという幸運な経験を、高校生などの次世代・女性たちに伝えていくとともに、共に進む仲間・大きな市場を目指したい秋田のブランドを募集しています！

「おめなばでざるがら、まずやつてみれ」と、のびのびと私を育て、起業を支えてくれた父さん、母さん、ばっちゃん、ふたりの弟、そして天国のじっちゃん、本当にありがとう。そしてこれをお読みいただいているお父さん、お母さん方、地域の皆さん、もし娘さんに学びたいことがあるのなら、勇気を出して応援していただけますと幸いです。おいしいお米同様に、秋田が誇る人材、次の「あきたこまち」を育ててほしいと願っています。

最後にあねつことしても、秋田の皆さまにお願いがあります。黒川の我が家の田んぼを継いでくれた心優しい弟・忠太くんをどうぞよろしくお願ひします！



東北の女性起業支援団体「Venus Club」のメンバー。2018年 東京で開催された大手メーカーの商品発表会に参加し、ブランディング支援を学ぶ